

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設多核種除去設備(C)のカルシウム濃度上昇について】 当社社員が運転中の増設多核種除去設備(C)の定例サンプリングにおいて、クロスフローフィルタ二次側のバッファタンク出口の水を採取したところ、カルシウム濃度が高いことを確認。あわせてクロスフローフィルタのドレンラインにおいて若干の白濁も確認したため、増設多核種除去設備(C)を停止。 クロスフローフィルタのエLEMENT(※)の損耗が考えられるため、今後、クロスフローフィルタの内部確認とELEMENTの交換を実施予定。 水処理については、必要な処理設備は確保済みのため問題なし。</p> <p>※ELEMENT:ろ過材</p>	G II	6月7日
2	<p>【J5及びJ6西タンクエリアの堰内水位監視用Webカメラの監視不能について】 当社社員が2021年1月12日審議の不適合「J6東タンクエリアの堰内水位監視用Webカメラの監視不具合について」の原因調査において、PoEインジェクター(※)とWebカメラの異常を確認するため、J6東タンクエリアのPoEインジェクターからWebカメラを取り外し、正常に監視できているJ5及びJ6西タンクエリアのPoEインジェクターに接続したところ、映像確認ができず、J6東タンクエリアのWebカメラの故障と判断。その後、J5及びJ6西タンクエリアのPoEインジェクターに正常に監視できていたWebカメラを接続したが映像確認ができなくなっていた。 J5及びJ6西タンクエリアのWebカメラについては他の方法で健全であることが確認されたため、PoEインジェクターが偶発的に故障したものと推定。 今後、原因調査とPoEインジェクターの交換を予定。 J5及びJ6西タンクエリアの堰内水位監視については、タンクエリアのパトロールによる1日1回の監視、およびタンクの水時計による常時監視を実施しているため、監視に影響なし。</p> <p>※PoEインジェクター:LANケーブルで機器に電力を供給する装置</p>	G III	6月4日
3	<p>【5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(B)の海水側出入口弁のシート漏えいについて】 当直員が5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(B)の点検に伴う水抜き作業において、海水側出入口弁のシート漏えいを確認。 今後、弁の分解点検を実施。</p>	G III	6月4日
4	<p>【5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(B)の海水入口管側排水弁と出口管側排水弁のシート漏えいについて】 当直員が5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(B)の点検に伴う水抜き作業において、海水入口管側排水弁と出口管側排水弁のシート漏えいを確認。 今後、弁の分解点検または交換を実施。</p>	G III	6月4日
5	<p>【所内共通非常用ディーゼル発電機(A)の凍結防止分電盤の漏電遮断器動作不良について】 当直員が所内共通非常用ディーゼル発電機(A)の凍結防止分電盤の点検において、配管用ヒータ(8)の漏電遮断器の動作不良を確認。 調査したところ当該ヒータ回路の地絡を確認したため、修理を実施予定。 ヒータは冬期に使用するため、現在は影響なし。</p>	G III	6月7日
6	<p>【5・6号機廃棄物地下貯蔵設備建屋の防火ダンパーの動作不良について】 当直員が5・6号機中央操作室の自動火災報知設備において、6号機廃棄物地下貯蔵設備地下1階の連絡通路の火災警報を確認。 警報発生時、6箇所の防火ダンパー(※)が「閉」となるところ、2箇所が「閉」とならないことを確認。 公設消防により非火災と判断され、火災警報元となった煙感知器を交換。 その後、防火ダンパー復旧のため「開」操作を実施したが、1箇所が「開」とならなかった。 防火管理者に状況を説明したところ、当該ダクト系統が運用停止中のため安全を考慮し、全ての防火ダンパーを「閉」にしておくよう指示を受ける。 「閉」操作を実施することで、防火区画が形成済みとなり、他設備への影響はなし。 今後、正しく動作しなかった原因を調査し、再発防止対策を検討。</p> <p>※防火ダンパー:排気ダクト内への炎や煙の進入を遮断し、ダクト火災を防止するもの</p>	G III	6月3日